

取扱説明書

保管用

(Y107A) A



丸型蛍光ランプ・シーリングライト用リモコン送信機 (FCH専用リモコン)

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取付説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取付説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ：器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。

一般の方の工事は法律で禁じられています。

工事店様へ：工事が終わりましたら、この取付説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

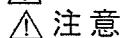
仕様

品番	適合器具
TG-269	〈FHC専用リモコン対応機種〉 FHC76Wタイプ・FHC86Wタイプ・FHC114Wタイプ

この取付説明書のマークについて



説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。



説明書中の「注意」は、物損及び障害事故の原因となる危険を示します。



このマークのついている説明文は、必ず守ってください。



このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

取り付け・取り扱い上の注意

△警告

一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。★感電事故や漏電の原因となります。

器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。★火災や感電事故の原因となります。

△注意

このリモコン送信機は、当社照明器具専用です。リモコン式テレビなどには使用できません。

リモコン送信機は壁スイッチがONのときのみ切り替えできます。

リモコン送信機で消灯した場合、マイコンを使用しているためわずかな電流が流れで約2Wの電力を消費します。
★長時間お使いにならない時は必ず壁スイッチを切って節電に心がけてください。

リモコン送信機の周辺にしゃへい物がある場合は、受信機が動作しない場合があります。
★しゃへい物を避けて、再度ボタンを押してください。

天井、壁、床の色や材質で操作距離が短くなることがあります。

リモコン送信機の送信部、器具のリモコン受信部は汚れると動作しにくくなりますので乾いた布でふいてください。
また、電池が消耗してくると動作しにくくなりますので、その際は新しい電池と交換してください。

この照明器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビやワイヤレス機器等を使用すると、リモコンが正常に作動しない事があります。

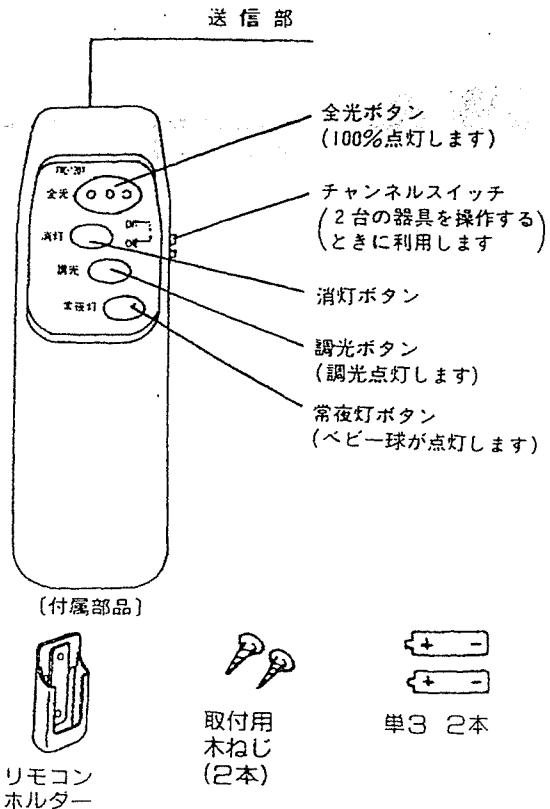
点灯直後、全灯時や調光時、リモコンで切り替えにくい場合があります。その際はしばらくしてから切り替えてください。

リモコン送信機で消灯した場合、停電が発生した際プラスイッチレス機能が働き全灯点灯になることがあります。

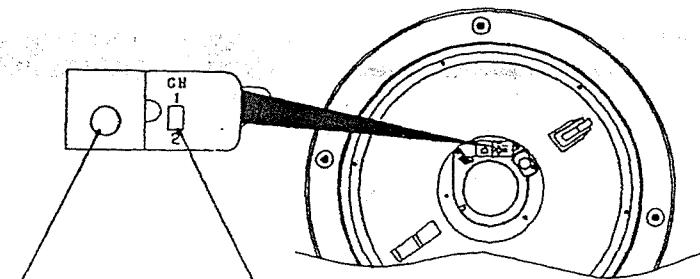
リモコン送信機は、落としたり、水をかけたり、踏みつけたりしないで下さい。
★リモコンの変形や故障の原因となります。

各部のなまえ

リモコン送信機



照明器具の切替スイッチ部



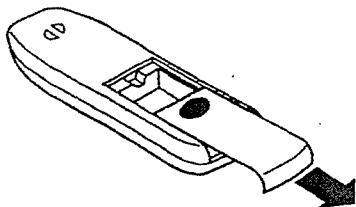
ご注意

- 万一、動作に異常が生じた場合は電源を一度切って、入れ直してください。
(壁スイッチを一度切るか、壁スイッチがない場合は、電源コネクタを一度外し、取り付け直してください。)

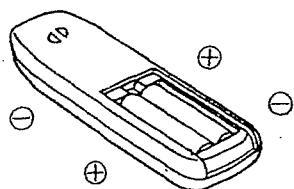
※このチャンネルは、出荷時チャンネル1に設定しております。

1. リモコン送信機に乾電池を入れてください。

- 裏面のカバーを軽く押さえながら手前に引いてください。



- 単3乾電池を表示に合わせて極性+/-をまちがえないよう入れてカバーを閉めてください。



- リモコン送信機の平均電池寿命は1日10回使用の場合約1年間がめやすです。

ご注意

- 乾電池交換の際は必ず同時に2本とも交換してください。動作不良の原因となります。
- 長期にわたり、リモコン送信機を使用しない場合は、電池を外しておいてください。
液もれなどによりモコン送信機をいためる原因となります。

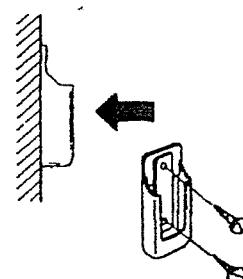
2. リモコンホルダーのご使用方法

- リモコン送信機の紛失を防止するためリモコンホルダーが同梱されています。壁面に取り付けてご利用ください。

付属の木ねじでリモコンホルダーを確実に固定してください。

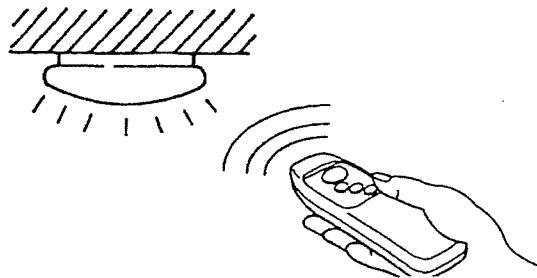
ご注意

- リモコンを操作する際は、ホルダーから送信機を外さずして器具に向けてください。

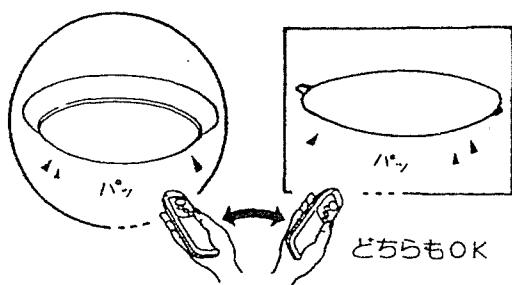


3. リモコン送信機による照明器具の点滅操作

- リモコン送信機を照明器具に向けて、お好みのボタンを軽く押してください。照明器具内のブザーが“ピッ”となってお好みの点灯状態に切り替えられます。



- 2台の照明器具の操作が1つのリモコン送信機により行えます。それぞれの照明器具側のチャンネルをチャンネル1・チャンネル2と個別に設定した場合、リモコン送信機のチャンネルと同じチャンネルの照明器具のみが動作します。



4. リモコン使用上のご注意

- 付属のリモコン送信機は、当社照明器具専用です。リモコン式テレビなどには使用できません。
- リモコン送信機で消灯した場合、マイコンを使用しているためわずかな電流が流れて約2Wの電力を消費します。長時間お使いにならないときは必ず壁スイッチを切つて節電に心がけてください。
- インバーター照明器具が取り付けられた部屋でのご使用はインバーター器具から1.5m以上離して取り付けてください。
- リモコン送信機は、落としたり、水をかけたり、ふみつけたりしないでください。故障の原因となります。
- リモコン送信機の周囲に図のようなしゃへい物がある場合は、受信機が動作しない場合がありますので、その際はしゃへい物を避けて、再度ボタンを押してください。
- リモコン送信機の送信部、器具の受光部は汚れると動作しにくくなりますので乾いた布でふいてください。又、電池が消耗してくると動作しにくくなりますので、その際は新しい電池と交換してください。
- この照明器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビやワイヤレス機器等を使用すると、リモコンが正常に動作しないことがあります。
- 天井、壁、床の色や材質で操作距離が短くなることがあります。
- 点灯直後、全光時や調光時リモコンで切り替えにくい場合があります。その際はしばらくしてから切り替えてください。

●お手入れについて

△注意

●必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

- こまめに清掃を：照明器具やランプが汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。
- ランプ交換について：器具にあったワット数のランプをお求めください。

△注意

- お手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
★感電事故の原因となります。
- 濡れた手で触らないでください。
★感電事故の原因となります。
- シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり、変色や変質の原因となります。

■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態となりましたらただちに使用を中止し、器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください）、故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げ頂きました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。